

戒名（逆修）

生前戒名



慈しみ深く家庭をまもり支える姿は、
優れて気高く貴い人である。

慈庭じてい 道号みちごう 妙高みょうこう 法名ほうなふ 大姉だいし 位号いごう

妙高みょうこう 〓 《仏教》須弥山シユミセンのこと。
梵語（サンスクリット） Sure u parvat aの音訳。



田高子

昭和 年11月7日生 所沢市出身

慈 〓 慈しむ 育てる 恵み 憐れみ 仏が垂れる仁恵・恵沢
真言宗では樂を与えるの意

庭 〓 にわ おもてざし 役所 宮中 家内 場所 従順

妙 〓 たえ 神髄 言うに言われぬほどすぐれている わかしたおやか しな
やか 無比

高 〓 たかし 貴い すぐれている 価がたかい 大いなり 気品がある 世俗
にぬきんでている 尊敬する

《解字》

象形。台地にたてたたかい建物を描いたもの。

また槁（ゴウ）（かわいたかれ木）に通じて、かわい
高甲 高金 高象 高楷
た意をも含む。



梅松山

円泉寺えんせんじ

埼玉県飯能市平松三七六

電話〇四一（九七三）五七一六

<http://www.ensenjiri.or.jp/>

戒名(逆修) 生前戒名



慧悟善栄居士

智慧ある人は、親しまれ、家善く栄える。

慧悟けいご 道号どうごう 善栄ぜんえい 法号ほうごう 居士こじ 位号いごう



地悟朗

昭和 年11月7日生 練馬区下石神井出身

慧 〓 さとし、かしこいの義。仏教では、物事の分別、判断する働きの意。恵と通じて用いることがある。(智慧・知恵「仏教では煩惱を去り、真理をとらえ、悟りをひらく精神の力。」「科学的知識などのような単なる知識とは異なり、人生、生き方などにかかわる経験にもとづいた考え」)

梧 《意味》

〔名詞〕**あおぎり**「梧桐ことう」(あをぎり)。木の名。あおぎり科の落葉高木。

葉は大形で、樹皮が緑色。材は琴や家具に用いる。

〔動詞〕**つかえる**(つかふ)。くいこみを入れてささえる。「枝梧しご」 〓 支吾しご」

〔名詞〕**あおぎり**でつくった机や琴。

「魁梧けいご」とは、壮大なさま。からだが大きく立派なさま。

梧伝かづか 〓 あおぎりと、ひさぎ。ともに良質の木材になる。「孟子・告上」

すぐれた人物のたとえ。

注、日本のあおぎりは木材としては使えない。カカオも、あおぎり科

《解字》

会意兼形声。「木」音符吾ご(かみあう)で、棒をかみこませてささえること。

善 〓 よいこと よいところ よい行い うるわしい よし 親しい 正しい

優れている 巧みに 多く よきことを行う 親しい

栄 〓 さかえる さかん あらわれる ほまれ しげる 花 つや



梅松山 円泉寺えんせんじ

埼玉県飯能市平松三七六 電話〇四一(九七三)五七一六

<http://www.ensenji.or.jp/>